

令和5年度第1回水戸市安全なまちづくり推進委員会

日 時 令和5年9月1日(金)

午前10時30分～

場 所 本庁舎2階 協働会議室

次 第

1 開 会

2 部長あいさつ

3 諮問書交付

4 議 題

- ・ 水戸市安全なまちづくり基本計画（第3次）の策定について

5 その他

6 閉 会

令和5年度 水戸市安全なまちづくり推進委員会 委員名簿

(順不同 敬称略)

No	団体名及び役職名	委員氏名	備考
1	水戸地区自警団連絡協議会 会長	荻野 行広	
2	水戸地区防犯連絡員協議会 酒門分会長	鎌田 忠雄	
3	水戸地区少年指導委員連絡協議会 会長	中山 英樹	
4	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 常任理事	江口 孝史	
5	水戸市高齢者クラブ連合会 会長	岡田 浩	
6	水戸商工会議所女性会 会長	島田 弘子	
7	水戸市青少年育成推進会議 会長	坏 哲男	
8	水戸市地域女性団体連絡会 会長	林 由香里	
9	水戸市議会議員	土田 記代美	
10	常磐大学教授	千手 正治	
11	茨城県水戸警察署 生活安全課長	江面 祐一	
12	水戸市学校・警察連絡協議会 幹事校 (高校・特別支援学校部会)	向後 裕多	
13	水戸市学校長会 会長	志賀 正章	
14	水戸地区保護司会 犯罪予防部長	井上 泰修	
15	公募委員	藤田 絹代	

令和5年9月1日現在

1 犯罪の現状

(1) 全国の犯罪発生状況

犯罪発生指標となる刑法犯認知件数について、全国における過去10年間の推移を見てみると、令和3年から令和4年に掛けて若干の上昇がみられるものの、概ね右肩下がりで減少しております。

具体的には、平成25年に約131万件発生していた刑法犯が、令和4年には約半数の約60万件に減少しております。

(2) 県内の犯罪発生状況

また、県内における過去10年間の刑法犯認知件数の推移を見てみると、全国と同様に、令和3年から令和4年に掛けて若干の上昇がみられるものの、概ね右肩下がりで減少しております。

具体的には、平成25年に約3万5千件発生していた刑法犯が、令和4年には約半数の約1万5千件に減少しております。

平成25年といえば、東日本大震災の発生から2年が経過し、日本国民全体が復興に取り組む真最中で、復興への願いを込めてNHKの連続テレビ小説では三陸海岸を舞台とした「あまちゃん」が放映され人気を博した年でもありました。かくいう水戸市役所も、被災により数か所の仮庁舎に分散して勤務をしておりました。



全国	1,314,140	1,212,163	1,098,969	996,120	915,042	817,338	748,559	614,231	568,104	601,389
茨城	35,055	30,502	29,085	26,607	24,809	22,550	20,312	16,301	14,277	15,986

2 水戸市の現状

続いて、水戸市内における刑法犯認知件数の推移を見てみると、全国さらに県内の傾向と同様に、令和3年から令和4年にかけて若干の上昇が見られたものの、概ね右肩下がり減少しております。

具体的には、平成25年に4,357件発生していた刑法犯が、令和4年には1,610件と約3分の1に減少しております。

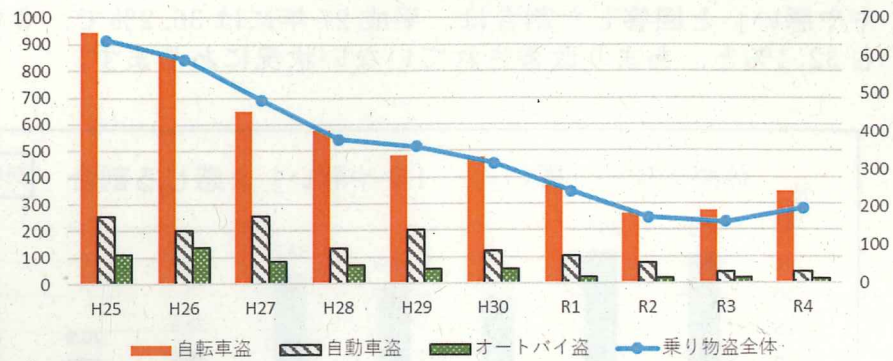
このように減少傾向を呈している水戸市内の犯罪の中で、発生の特徴を分析してみると、市民の皆様的身近で発生している乗り物盗（自動車、オートバイ、自転車の盗難）の認知件数が、平成25年には916件、住宅侵入窃盗（空き巣、忍込み、居空き）の認知件数が322件と、両罪種で全体の約3割を占めておりました。



次に、これら乗り物盗と住宅侵入窃盗の認知件数の推移を罪種別で見ると、先ず、乗り物盗については、平成25年に661件と発生の約7割を占めていた自転車盗難が、令和4年には243件と約3分の1に減少しました。さらに、自動車盗難が179件から28件へと約8割減少、オートバイ盗難についても、76件から10件へと約8割減少しております。

水戸市では、駅周辺における駐輪場の管理運営と、放置自転車の回収業務も行っておりますが、これらに加えて、駅ビル等においても駐輪場の整備が進んだことにより、放置自転車の台数が減少したことも、自転車盗難被害が大きく減少した要因の一つと考えております。

乗り物盗の罪種別被害件数の推移



乗り物盗全体	916	844	692	544	515	453	346	248	231	281
自転車盗	661	606	455	403	337	331	257	183	191	243
自動車盗	179	142	178	93	140	86	73	52	28	28
オートバイ盗	76	96	59	48	38	36	16	13	12	10

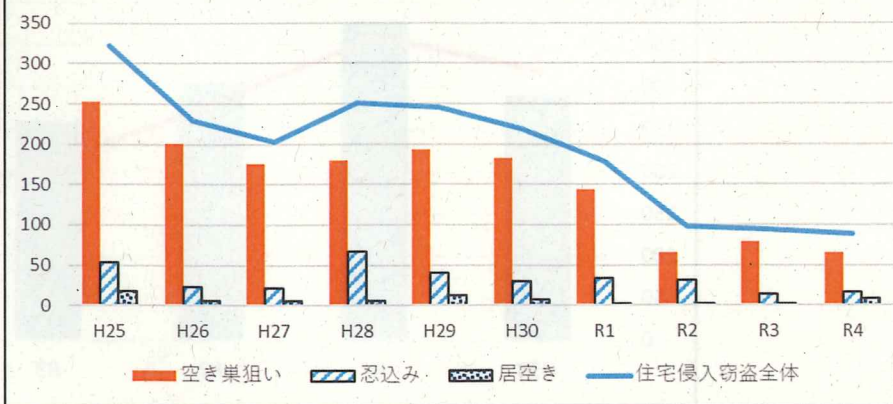
また、住宅侵入窃盗については、平成 25 年に 252 件と発生の約 8 割を占めていた空き巣狙いが、令和 4 年には 65 件と約 7 割減少しております。

続いて、忍込みが 53 件から 16 件へと約 7 割減少、居空きについても 17 件から 8 件へと約 5 割減少しております。

減少の要因は、各種啓発活動等が活発になされたことにより市民の皆様の防犯意識の向上し、外出時や就寝時における鍵掛けが増えたことが影響しているものと考えております。

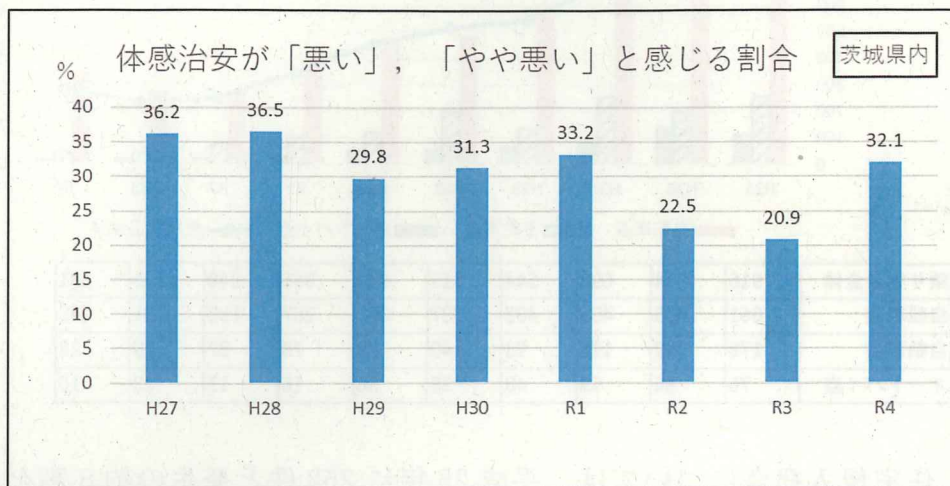
つまり、乗り物盗や住宅侵入窃盗等の身近な犯罪の減少が、水戸市内における刑法犯認知件数全体の減少につながる大きな要因の一つであると考えており、ここ 10 年間においては、指数上は、治安は改善傾向にあると考えられます。

住宅侵入窃盗の罪種別被害件数の推移



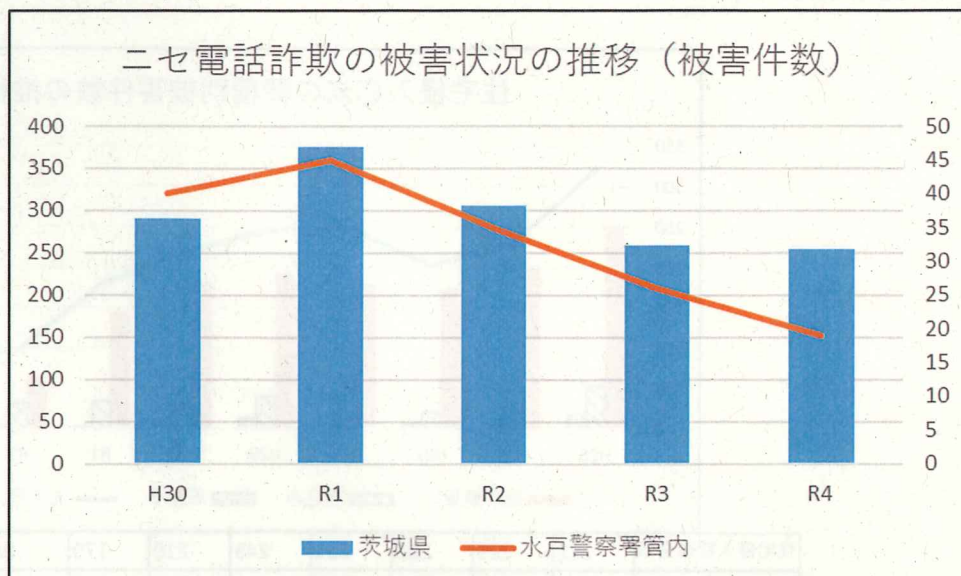
住宅侵入窃盗全体	322	229	203	251	245	219	179	98	94	89
空き巣狙い	252	201	175	179	193	182	144	65	79	65
忍込み	53	23	22	67	40	30	33	31	14	16
居空き	17	5	6	5	12	7	2	2	1	8

一方で、茨城県が実施した治安に対する意識調査によると、茨城県民が肌で感じるいわゆる体感治安について、「治安が悪い」、または「治安がやや悪い」と回答した割合は、平成27年には36.2%で、令和4年の調査でも32.1%と、あまり改善されていない状況にあります。

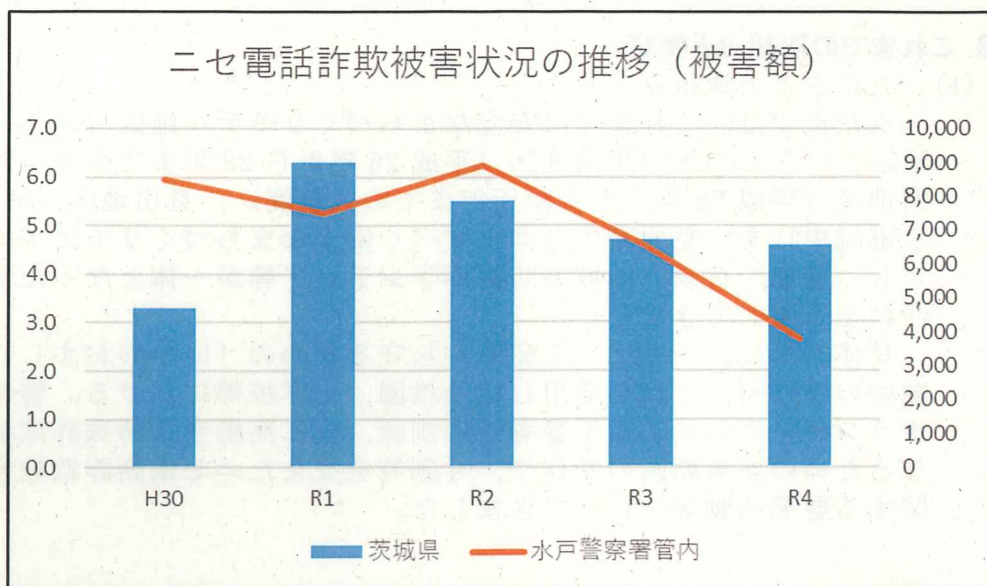


体感治安が悪いと感じる要因には、全国的に問題とされているニセ電話詐欺（特殊詐欺）や鉄道や公共施設等での無差別殺傷事件、さらには、空き巣、自動車盗難等の窃盗犯罪の発生が要因であると考えております。

これらの犯罪の中でも、とりわけニセ電話詐欺につきましては、令和4年中に、水戸警察署管内で19件の被害が発生しており、5年前と比較すると被害件数、被害額ともに約半数になっておりますが、茨城県全体で見ると、令和2年以降ほぼ横ばいで推移しており、水戸市においても被害の増加が懸念されております。



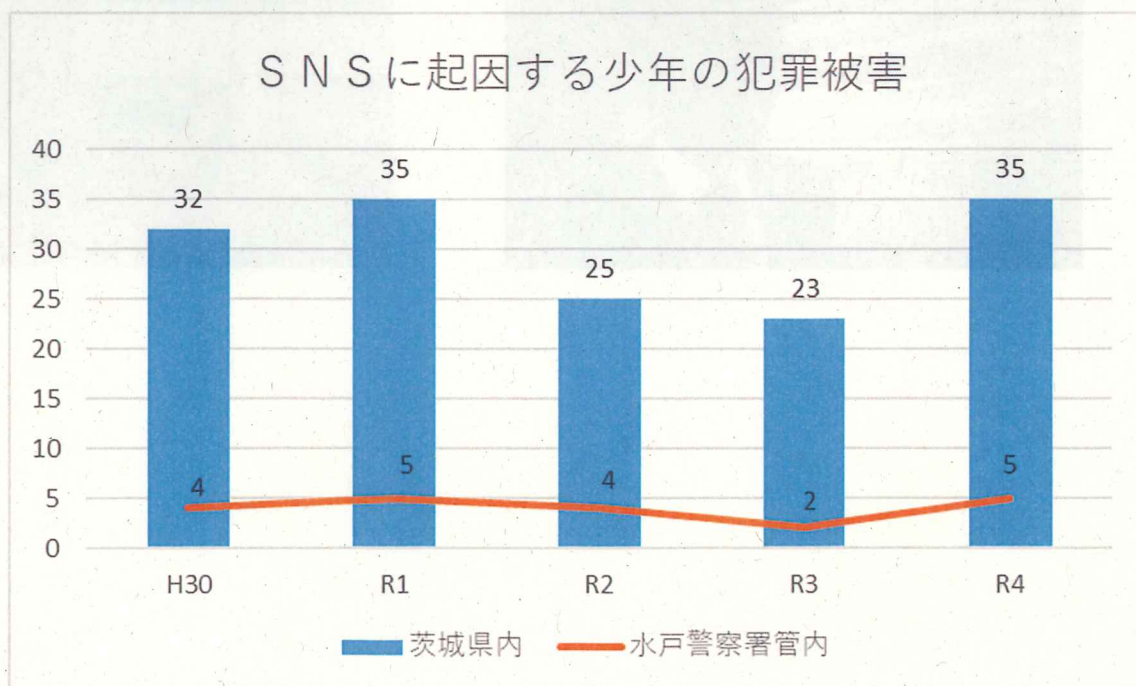
茨城県	290	376	306	259	254
水戸警察署管内	40	45	35	26	19



	H30	R1	R2	R3	R4	単位
茨城県	3.3	6.3	5.5	4.7	4.6	億円
水戸警察署管内	8,500	7,500	8,900	6,600	3,800	千万円

また、SNS等に起因する少年の犯罪被害については、令和4年中は茨城県内で35件の被害を認知しており、令和元年と並んで過去最高の認知件数であると伺っております。

水戸警察署管内においても、令和4年中は5件の被害を認知しており、被害については低年齢化が進行していると伺っております。



3 これまでの取組みと検証

(1) これまでの取組み

水戸市では、これまでに安全なまちづくりモデル地区（以下「モデル地区」）として水戸駅南地区（平成26年から28年までの3年間）、酒門地区（平成29年から令和元年までの3年間）、見川地区（令和2年から継続中）を、犯罪発生を抑止すべく安全なまちづくりモデル地区に設定し、警察、行政、地域の防犯ボランティア等が一体となった犯罪抑止活動を展開してきました。

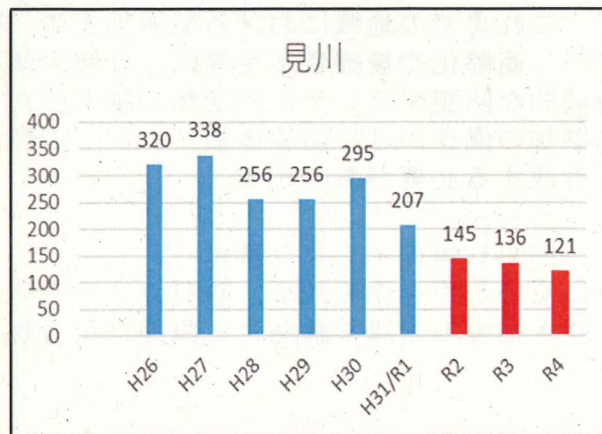
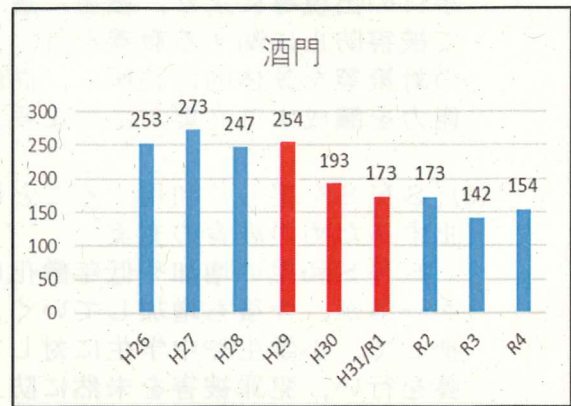
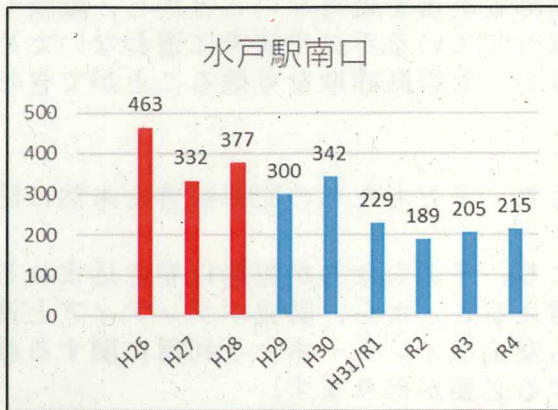
具体的には、子供たちを犯罪から守るための「いかのおすし」ダンス動画の制作や、これを活用した幼稚園、小学校等における、警察や防犯ボランティアらによる不審者対応訓練、主に高齢者を特殊詐欺被害から守るための啓発動画の制作や、寸劇等を交えたニセ電話詐欺被害防止に関する啓発活動等を行ってきました。



(2) 安全なまちづくりモデル地区における犯罪発生状況

各モデル地区の刑法犯認知件数の推移をみると、いずれの地区も、モデル地区としての活動の後には減少傾向で推移しており、モデル地区として指定されることにより、住民が、自らが生活する地域における犯罪発生の現状に危機感を持ち、警察との連携はもとより、自分のまちは自分で守るとの自助の精神を醸成することで、地域における防犯ボランティア活動を活発化させたことも減少の一因であると思われます。

特に水戸駅南口については、モデル地区に指定した平成26年には、463件の刑法犯被害が報告されていましたが、令和4年には215件と約半数に減少しております。



4 現状及び前計画を踏まえた課題

(1) 子どもたちが不審者を見分けることができる能力の醸成

これまでも、学校等において、「不審者とは」や「不審者に遭遇した際の対応要領」等について教養を行ってきましたが、地域にいる知らない人すべてが不審者ではないことから、地域における積極的なあいさつや声掛け等は、子どもたちの防犯力を高める重要な要素であると考えます。そこで、不審者対応訓練等を通じて、子どもたちが、善良な方と不審者とを見分けることができる能力を醸成する必要があります。

(2) 高齢者がニセ電話詐欺を見破ることができる能力の醸成

これまでも、地域における会合等において、ニセ電話詐欺の手口や被害防止方策についての教養を行ってきましたが、サポート詐欺等の新たな手口の出現等により、被害に遭う高齢者が後を絶たないことから、継続して被害防止に関する教養を行い、流行している手口や被害に遭わないための対策等を具体的に説明し、高齢者がニセ電話詐欺を見破ることができる能力を醸成する必要があります。

(3) SNSを正しく利用することにより、子どもたちの犯罪被害を未然に防止するための教育の充実

SNS利用の増加や低年齢化により、子どもたちが犯罪に巻き込まれるケースが、今後も増加していくと考えることから、防犯ボランティアと連携して、小学生や中学生に対しても安全なインターネット利用に関する教養を行い、犯罪被害を未然に防止する必要があります。

(4) 次世代を担う防犯ボランティア人材の育成

地域における良好な治安を支えてきた住民の連帯感が希薄になっている昨今において、これまでの地域における犯罪抑止の一翼を担ってきた防犯ボランティアが、高齢化や後継者不足等により減少傾向にあることや、地域における持続的な防犯ボランティア活動の推進のため、幅広い世代への防犯活動への参加の働きかけや防犯体験イベントの開催など、防犯ボランティア人材を育成する必要があります。

(5) 防犯カメラ、防犯灯等のインフラ整備

犯罪が起きにくい水戸を作るため、防犯カメラや防犯灯等の整備を拡充、空き家・空き地等の犯罪を誘発する原因となる物への対策が必要となります。

水戸市安全なまちづくり基本計画（第3次）策定基本方針

1 計画策定の趣旨

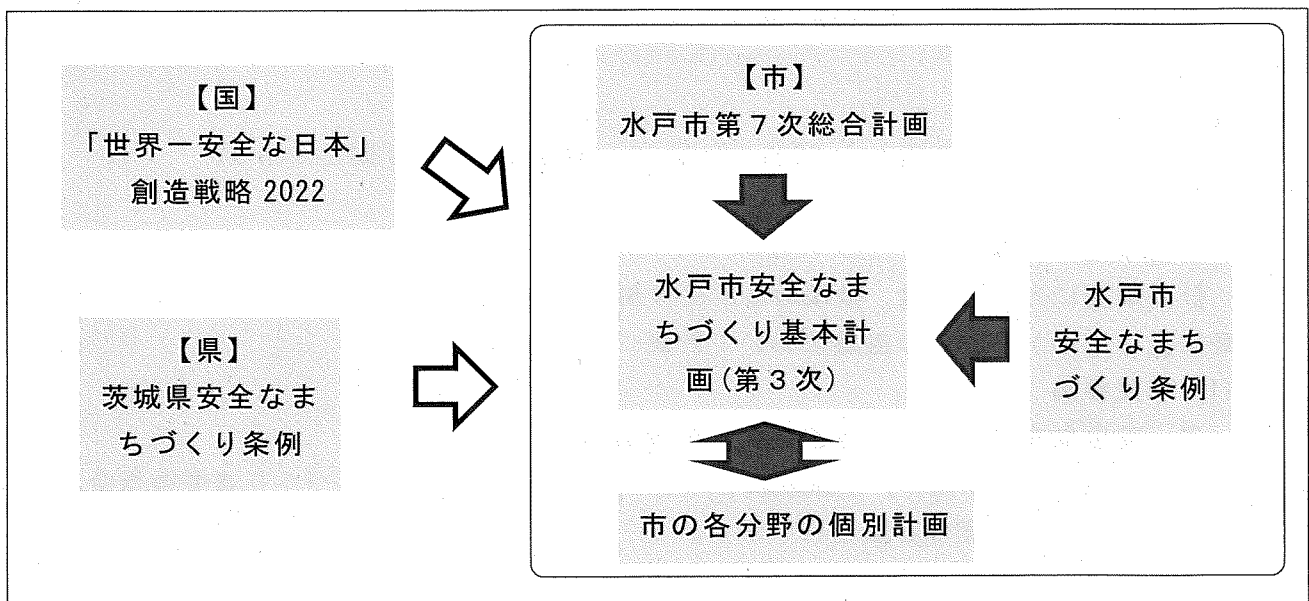
国においては、令和3年中の全国の刑法犯認知件数が戦後最大時(平成14年)の5分の1まで減少するなど、これまでの取組に一定の評価を示しています。一方、社会情勢や我が国を取り巻く情勢の目まぐるしい変化に対し、様々な治安課題に取り組むため、2022(令和4)年に「世界一安全な日本」創造戦略2022」を策定し、犯罪対策を推進しています。

本市においては、犯罪のない社会の実現に向け、2004(平成16)年に水戸市安全なまちづくり条例を施行し、地域、事業者、行政等が連携した防犯活動を推進してきました。これらの活動により、市内の犯罪認知件数も減少傾向を示すなど、一定の成果を上げています。しかし、サイバー犯罪やニセ電話詐欺(特殊詐欺)等の被害が発生するなど、犯罪の巧妙化・複雑化が見られており、市民が安全・安心を感じられる地域社会の実現のためには、引き続き防犯活動に取り組んでいく必要があります。

また、これまでの安全なまちづくりモデル地区における取組や自主防犯活動団体のパトロール等が、窃盗犯等の減少に効果をもたらしていると考えられるため、その成果を市全体に展開し、更なる防犯対策を推進することが重要です。

本計画は、個人及び地域の継続的な防犯意識の高揚とともに、再犯防止や防犯設備の拡充など、現状に合わせた見直しを行い、国、県の方針やSDGsの理念を踏まえるとともに、水戸市第7次総合計画や関連計画との整合性を図りながら、更なる安全・安心なまちづくりに向けて策定するものです。

【図】計画の位置づけ



2 計画策定の基本的姿勢

安全なまちづくりモデル地区の活動を重点的な取組とするとともに、社会環境の変化に対応しながら、更なる安全なまちづくりを推進するため、本計画の基本方針を次のとおり定めます。

(1) こどもや高齢者等の安全確保

不審者情報やニセ電話詐欺（特殊詐欺）などの防犯に関する情報を、あらゆる広報媒体を活用して提供するとともに、警察等と連携し、特に防犯上配慮を要するこどもや高齢者等が犯罪被害に遭わないための防犯教育の充実を図り、誰もが安全に安心して暮らせる社会環境の実現を目指します。

(2) 防犯力の高い地域・社会づくり

これまでの安全なまちづくりのための各種活動の成果を踏まえ、地域における防犯対策を強化するとともに、防犯意識の醸成や人材育成に努めるなど、地域、事業者、行政等が一体となった施策を推進します。

特に、青色防犯パトロール、地域における挨拶・声掛けの励行、ながらパトロールの促進など、関係機関と連携した取組を強化します。

(3) 犯罪を未然に防ぐ環境づくり

まちにおける犯罪の防止や通行の安全確保を図るため、防犯カメラや防犯灯などの整備を拡充するとともに、管理不十分な空き家・空き地等犯罪を誘発する原因となるものへの対策を実施し、犯罪が起きにくいまちづくりを推進します。

3 計画の構成及び期間

(1) 計画の構成

本市の課題やこれまでの取組状況、重点化を図る項目等を踏まえ、目指す姿や目標指標（数値目標）、具体的な施策を定めます。

(2) 計画の期間

2024（令和6）年度から2028（令和10）年度までの5年間とします。

4 計画策定の体制等

計画策定に当たっては、積極的な市民参加を図るとともに、計画の内容が様々な分野に渡ることから、次の組織において計画づくりを進めます。

(1) 市民参加

ア 安全なまちづくり推進委員会（附属機関）

関係機関、関係団体、学識経験者などで構成する安全なまちづくり推進委員会を開催し、計画内容の審議を行います。

イ 意見公募手続（パブリックコメント）

広く市民の意見を計画に反映させるため、意見公募手続を実施します。

(2) 庁内組織

ア 庁議、政策会議

庁議は、計画(案)に係る重要事項について審議し、計画を決定します。政策会議は、策定基本方針及び意見公募手続にかける計画(素案)を決定します。

イ 水戸市安全なまちづくり連絡会議

関係課長で構成し、計画(素案)及び計画(案)の策定作業を行います。

5 策定スケジュール

別紙のとおり。

水戸市安全なまちづくり基本計画（第3次）策定作業スケジュール

年度 項目・内容	R5												R6						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
総合計画策定スケジュール	<p>●議案提出 ●議決（基本構想）</p> <p>特別委員会</p> <p>（案）作成 （案）作成 （案）作成</p> <p>基本計画各論の最終調整</p> <p>第7次総合計画前期（R6.4～）</p>																		
安まち基本計画策定スケジュール	<p>【基本方針の整理】</p> <p>政策会議等（基本方針）</p> <p>市長・副市長調整</p> <p>政策会議等（意見公募）</p> <p>市長・副市長調整</p> <p>庁議等（計画決定）</p> <p>市長・副市長調整 （政策会議等）</p> <p>公表・公開 委員会報告</p>																		
水戸市安全なまちづくり連絡会議（関係課長会議）	<p>※黒背景・白字…策定中の計画をまとめて審議する会議</p> <p>会議</p> <p>会議</p> <p>会議</p> <p>会議</p> <p>会議</p> <p>会議</p> <p>会議</p>																		
安全なまちづくり推進委員会	<p>諮問</p> <p>審議会</p> <p>審議会</p> <p>審議会</p> <p>答申</p>																		
意見公募各種調査等	<p>各種調査等</p> <p>意見公募</p>																		

FAX : 029-232-9238 (生活安全課) へて
(又は、メール : traffic.safety@city.mito.lg.jp)

委員名 : _____

令和5年度第1回水戸市安全なまちづくり推進委員会 (9月1日開催)

水戸市安全なまちづくり基本計画 (第3次) に係る意見等

該当項目 (頁, 行など)	意見等

※1 御意見等があれば、9月25日(月)までに下記へてご提出願います。

※2 次回の会議は、令和5年11月24日(金)の予定です。

(提出先)

〒310-8610 水戸市中央1-4-1

水戸市 市民協働部 生活安全課

担 当 市毛, 鴨志田

電 話 029-224-1113 (直通)

F A X 029-232-9238

メール traffic.safety@city.mito.lg.jp

皆様の安全安心を守るオールインワンのアプリ

子どもの見守り機能も充実!



茨城県警察

防犯アプリ

いばらきポリス

スマホの中の
心強い味方

マップ

犯罪・不審者・交通事故・
ニセ電話詐欺の発生情報を
公開。身の回りの犯罪等が
一目瞭然!



ちかんです
助けてください

画面をタップすると停止します

ちかん撃退

音と光で犯人を威嚇!
複数の表示パターンを搭載。
画面上から110番
通報も可能!

メール/SNSと連動

県警が配信する
ひばりくん防犯メールや
YouTube等のSNSの他、
ホームページも
閲覧可能!

パトロール機能

見守り活動など
ボランティア活動時に
活用しよう。地域の
パトロール状況も
確認できるよ!



防犯ブザー

防犯ブザーで不審者を
撃退! 家族などに位置を
知らせて助けを求める
こともできます!



他にも、お子様など特定の間柄の現在地を確認できたり、
最寄りの警察施設まで案内してくれる機能もあるぞ!

今すぐダウンロードだ!

ダウンロードはコチラ

いばらきポリス

検索

iOS端末
[iPhone等]



アンドロイド
端末



茨城県警
website



ダウンロードできない場合は、県警ホームページ内の
案内を参考にダウンロードをお願いします。

茨城県水戸警察署 水戸地区防犯協会



いばらき防犯ファイル R5 No.36

令和5年7月末の刑法犯認知件数

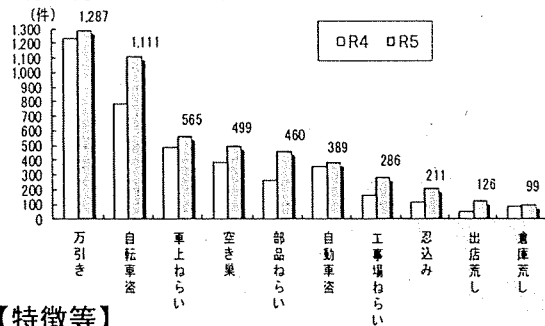
1 包括罪種別

区分	令和5年7月末						
	刑法犯総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
認知件数	11,270	65	813	8,318	586	77	1,411
前年比	2,972	-5	151	2,155	306	21	344
増減率(%)	36	-7	23	35	109	38	32

【包括罪種の区分】

- ・凶悪犯：殺人、強盗、放火、強制性交等
- ・粗暴犯：暴行、傷害、脅迫、恐喝等
- ・窃盗犯：乗り物盗、(非)侵入盗等
- ・知能犯：詐欺、横領、汚職等
- ・風俗犯：賭博、わいせつ等

2 窃盗犯の主な手口



【特徴等】

- 令和5年7月末の刑法犯総数は、11,270件(前年比+2,972件)
包括罪種別では、窃盗犯が8,318件(前年比+2,155件)で最多
- 罪種(手口)別では、万引きが1,287件(前年比+59件)で最多
※増加数最多は、自転車盗 +324件(認知件数1,111件)、減少数最多は、自動販売機ねらい -43件(認知件数33件)
- ニセ電話詐欺は、137件(架空料金請求79件、オレオレ30件等)で前年に比べ10件の増加
被害額は、3億3,187万1千円で、前年比7,449万3千円増加
*被害額: キャッシュカード手交型及びすり替え型におけるATM引出(窃取)額を含む

3 ニセ電話詐欺

	認知件数	増減数	被害額(千円)
オレオレ	30	-7	181,020
預貯金	3	-7	1,000
架空料金請求	79	60	119,651
還付金	11	-11	11,128
融資保証金	4	1	9,933
その他	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	10	-26	9,139
合計	137	10	331,871

4 全国との比較

刑法犯認知件数上位都道府県

順位	都道府県	件数
1	東京	49,370
2	大阪	45,319
3	埼玉	27,444
4	愛知	26,633
5	神奈川	24,757
6	千葉	21,107
7	兵庫	20,875
8	福岡	18,564
9	北海道	12,326
10	茨城	11,270

※全国 393,895件

犯罪率(人口10万人当たりの認知件数)

順位	都道府県	件数
1	大阪	516.0
2	茨城	396.8
3	兵庫	386.4
4	群馬	381.2
5	埼玉	374.0
6	福岡	362.9
7	愛知	355.3
8	栃木	352.6
9	東京	351.7
10	岐阜	345.3

※全国 315.2件

【自動車盗】

認知件数			犯罪率		
順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数
1位	千葉	413	1位	茨城	13.7
2位	茨城	389	2位	栃木	8.3
3位	愛知	383	3位	群馬	6.7

※全国 2.7

【住宅侵入窃盗】

認知件数			犯罪率		
順位	都道府県	件数	順位	都道府県	件数
1位	埼玉	914	1位	茨城	25.7
2位	愛知	762	2位	栃木	19.2
3位	茨城	730	3位	群馬	19.0

※全国 8.2

目頃からの防犯意識で犯罪被害の未然防止!



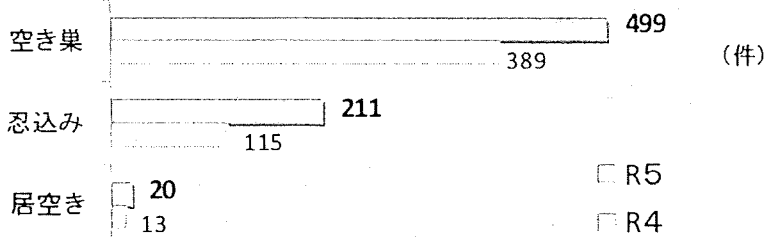


いばらき防犯ファイル R5 No.37

住宅侵入窃盗事件発生状況

令和5年7月末 730件(前年比+213件)

● 手口別発生状況



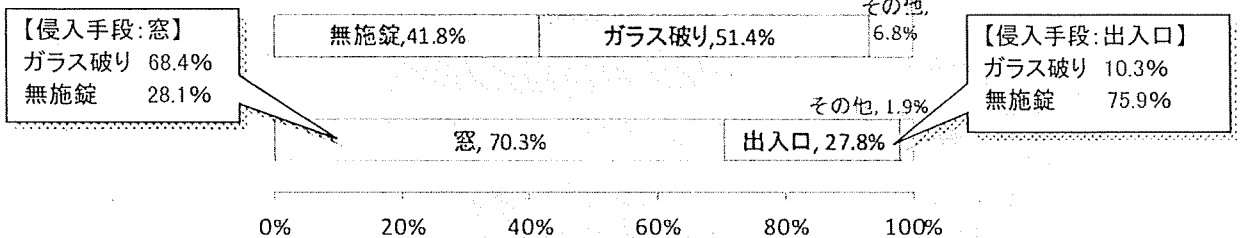
※【住宅侵入窃盗】

空き巣： 家人等が不在の住宅の屋内に侵入し金品を盗むこと
 忍込み： 夜間家人等の就寝時に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと
 居空き： 家人等が在宅中に住宅の屋内に侵入し、金品を盗むこと

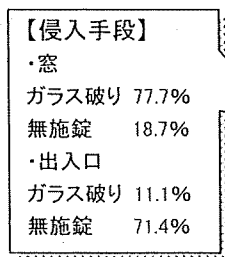
※ 住宅侵入窃盗の人口10万人当たりの認知件数(犯罪率)は、25.7件で全国ワースト(2位 栃木県 19.2件)、全国平均値(8.2件)の約3倍となっています。

● 特徴

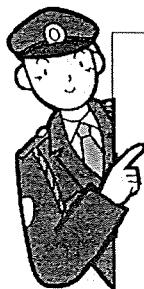
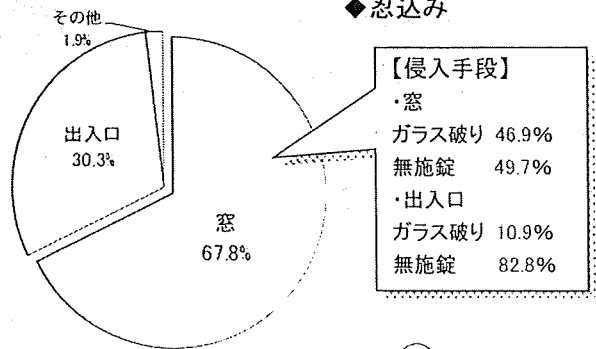
【侵入手段・箇所】



◆ 空き巣



◆ 忍込み



防犯メモ

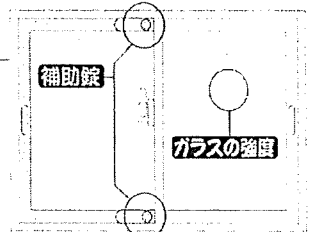
窓の約3割、出入口の約4分の3が無施錠の状態です。外出する際は、たとえ少しの時間でも、確実に鍵を掛けましょう。また、在宅中も鍵を掛ける習慣を付けましょう。

泥棒は、侵入に時間がかかるのを嫌がります。窓ガラスには防犯フィルム、サッシには補助錠等の対策を施しましょう。

センサーライトや防犯カメラ、警報器等の防犯装置を活用しましょう。

※防犯性能に優れた「CPマーク」表示のあるドアや窓などを取り付けることも被害の防止に効果的です。

「CP」Crime Prevention(防犯)の頭文字





いばらき防犯ファイル R5 No.38

令和5年7月末の自動車盗難事件認知状況 認知件数 389 件(前年比 +36 件)

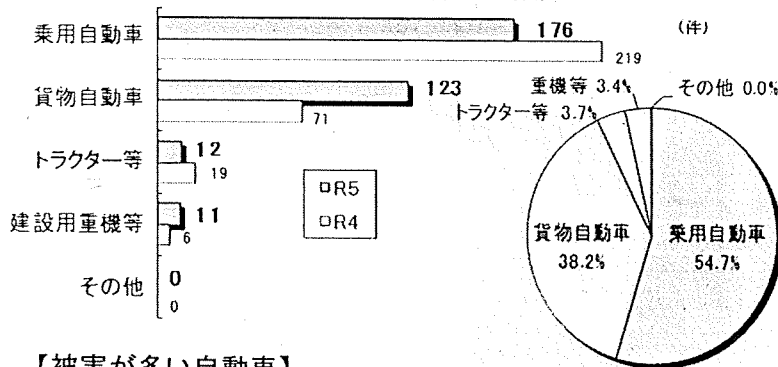
● 全国順位

認知件数												
順位	都道府県	認知件数	100	150	200	250	300	350	400	450		
1位	千葉	413	[Bar chart showing 413]									
2位	茨城	389	[Bar chart showing 389]									
3位	愛知	383	[Bar chart showing 383]									

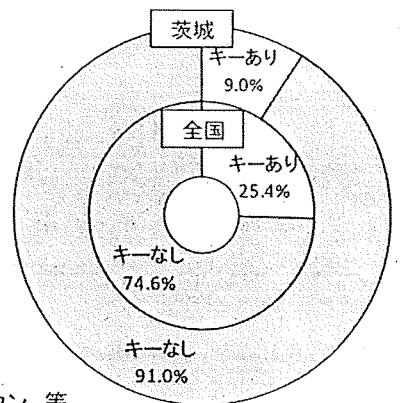
犯罪率																	
順位	都道府県	犯罪率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1位	茨城	13.7	[Bar chart showing 13.7]														
2位	栃木	8.3	[Bar chart showing 8.3]														
3位	群馬	6.7	[Bar chart showing 6.7]														
—	全国平均	2.7	[Bar chart showing 2.7]														

※犯罪率：人口10万人当たりの認知件数

● 車種別発生状況（既遂 322 件の内訳）



● エンジンキーの状態



【被害が多い自動車】

- ・乗用車：プリウス、ハリアー、スカイライン、ランドクルーザー、C-HR、クラウン 等
 - ・貨物車：ハイエース、エルフ、ファイター、フォワード、キャンター、レンジャー 等
- ※本県では被害車両の約9割が車内にキーが無い状態（施錠中含む。）で被害に遭っています。

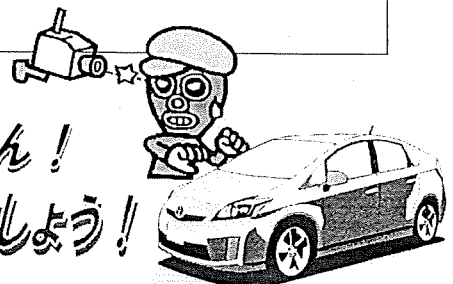


防犯メモ

- ☆ 保管場所に、防犯カメラや音や光を発する盗難防止装置等を設置しましょう。
- ☆ 駐車場に扉がある場合は、夜間は、必ず扉を閉め鍵をかけましょう。
※南京錠が破壊される事案も発生しています。頑丈な鍵を複数使用するなどの対策を行きましょう。
- ☆ 車両への盗難防止装置（警報器・バー式ハンドルロック等）の設置や、GPS装置等、複数の防犯対策を行きましょう。

※イモビライザ搭載車も多数被害に遭っています。

ドアロックだけでは愛車を守れません！
万全な防犯対策で被害を未然に防ぎましょう！

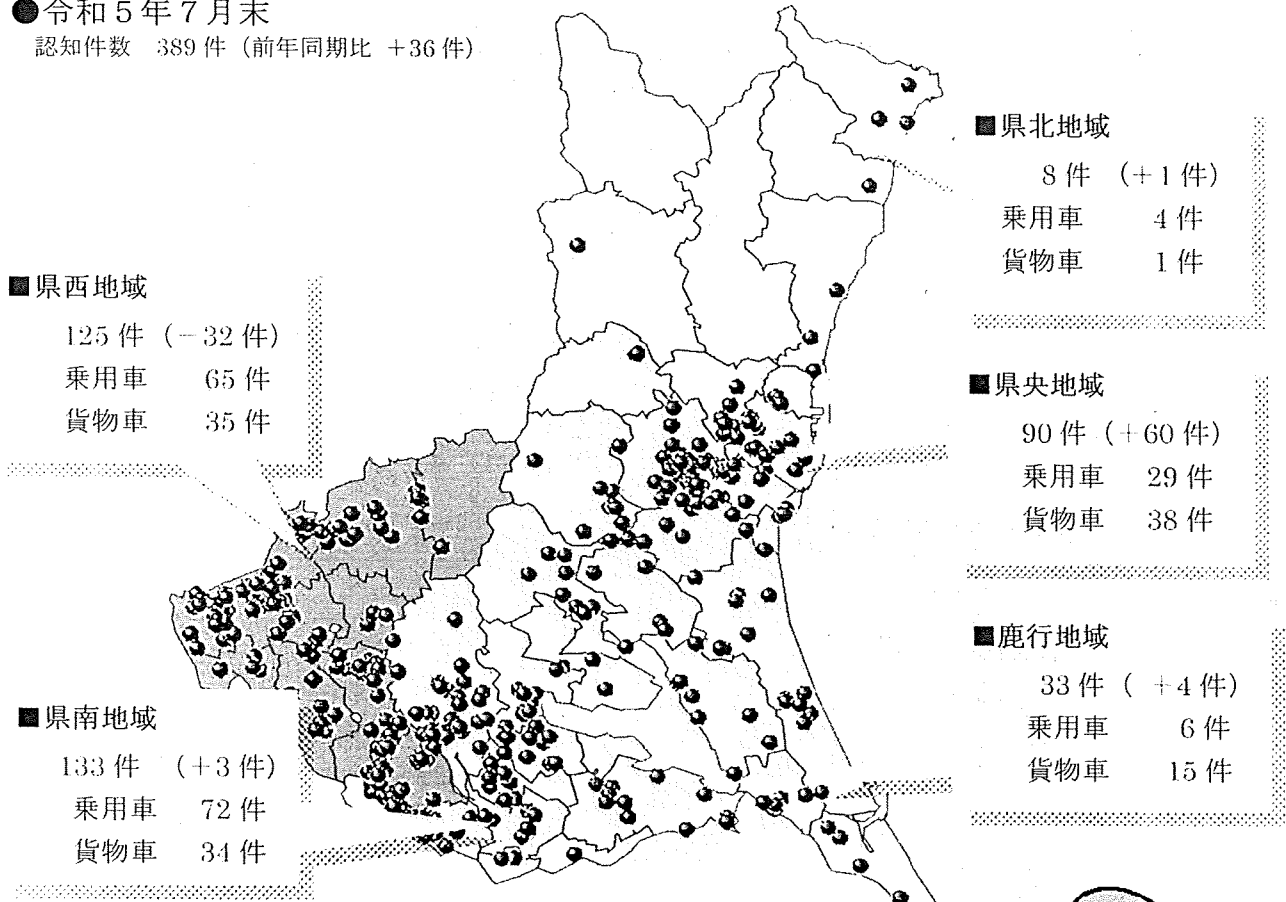




いばらき防犯ファイル R5 No.39

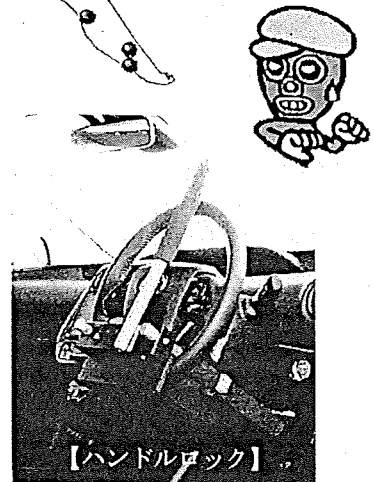
自動車盗地域別認知状況

● 令和5年7月末
認知件数 389件 (前年同期比 +36件)

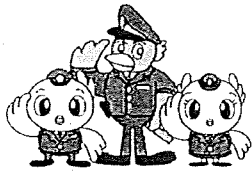


【多発市町村】

地域	市町村	認知件数	乗用車	貨物車
県央	水戸市	45件	16件	19件
県南	つくば市	34件	26件	3件
県西	古河市	33件	12件	15件
県西	常総市	30件	16件	4件
県南	取手市	18件	11件	0件
県南	土浦市	16件	7件	6件



自動車盗難事件が多発しています！
万全な防犯対策で被害を未然に防ぎましょう！



いばらき防犯ファイル R5 No.40

令和5年7月末の「二セ電話詐欺」認知状況

【統計：茨城県警察二セ電話詐欺対策室】

	令和5年7月末		令和4年7月末		増減	
	認知件数	被害額(千円)	認知件数	被害額(千円)	認知件数	被害額(千円)
オレオレ	30	181,020	37	144,200	-7	36,820
預貯金	3	1,000	10	6,356	-7	-5,356
架空料金請求	79	119,651	19	34,412	60	85,239
還付金	11	11,128	22	17,988	-11	-6,860
融資保証金	4	9,933	3	3,660	1	6,273
金融商品	0	0	0	0	0	0
ギャンブル	0	0	0	0	0	0
交際あっせん	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	10	9,139	36	50,762	-26	-41,623
合計	137	331,871	127	257,378	10	74,493

※預貯金詐欺とは・・・警察官、銀行職員、市町村職員等を装い、「あなたの口座が犯罪に利用されています」、「医療費などの還付金があります」などと言ってキャッシュカードなどをだまし取る手口です。

※被害額：キャッシュカード手交型及びすり替え型におけるATM引出（窃取）額を含む。

鞆を紛失した。
書類を誤送付した。

オレオレ

口座が不正に利用されています。キャッシュカードを預かる・確認する必要があります。

預貯金 **キャッシュカード詐欺盗**

二セ電話 **に要注意!**

未納料金があります。

架空料金請求

医療費・保険料が還ってきます。

還付金

キャッシュカードをだまし取る手口やすり替えて盗む手口が多発しています。キャッシュカードを他人に渡してはいけません。

【被害防止のキーワード】

- ◆ 「キャッシュカードを預かる・確認する」は全て詐欺！
※ 警察官や銀行員がキャッシュカードを取りに来ることは絶対にありません。
- ◆ 「プリペイド型電子マネーで料金払え」は全て詐欺！
- ◆ 「鞆を紛失した・書類を誤送付した」等と言って、お金を要求する息子や孫からの電話は全て詐欺！

☎ 「留守番電話」「防犯機能付き電話」を活用しましょう

【警察の相談ダイヤル #9110】※24時間対応